

# 横川の下滝



(表紙写真撮影：富山かなえ)

福島県境に近い茨城県の県北地域は、宮城県南部から連なる阿武隈山系の最南端として山々が連なっていることから、小規模ながらも多くの滝が点在しています。

茨城県の滝と言えば、日本三大名瀑と称される大子町の「袋田の滝」が有名ですが、常陸太田市内にも隠れた名瀑があります。その一つが、今回ご紹介する「横川の下滝」です。

横川の下滝は、落差18m、幅7mで水量も豊富であり、大変見応えがあります。新緑が美しい渓谷を抜け、2段に分かれて流れ落ちる水の姿は、そっと心を和ませてくれることでしょう。

久慈川水系里川の支流、天竜川にある横川の下滝は、阿武隈山系の中部に湧く折橋鉱泉の近くにあり、別名「湯平の大滝」と呼ばれています。鉱泉の開湯は1753年（宝暦3年）で、県内トップクラスのアルカリ度を誇り、“美人の湯”としても知られています。

横川の下滝は国道461号沿いにあり、無料駐車場も整備されているためアクセスがしやすく、また、滝を見下ろす観瀑台に設置された階段を下れば、河原にも降りることができます。

新型コロナウイルス感染症が終息した後、ご家族・ご友人とともに、麗しの滝を求め、マイナスイオンに包まれる横川の下滝を散策した後、約300年の歴史を誇る横川温泉郷に宿泊してみたいかでしょうか。



◆場所：茨城県常陸太田市折橋町

◆アクセス：

【車】常磐自動車道「高萩IC」より約50分